

処方箋解析

大阪医科薬科大学 薬学部

田中陽大

症例解析報告書（実習生用）

令和 年度 第 期 大学名 _____ 氏名： _____

症例No.		作成時間	時間
採 択 理 由			
処方箋かて記録かて得りたて情報	場 面	診療科	
	年 齢	性	
	処方内容	(一般名も併記すること)	
	併用薬 ・ 薬歴 ・ 検査値 ・ 持参薬		
解 析 内 容	予測される疾患名		
	添付文書との相違 疑義照会の必要性	添付文書との相違： 無 _____ 疑義照会の必要性： 無 _____	
	薬剤管理指導を行うにあたり、薬剤師として意識をしておくこと	例：作用機序、用法用量、投与回数、投与間隔、検査値、副作用など必要な項目について記載	
	今回の処方内容から必要とされる患者への聞き取りと観察項目（項目だけを記載）	例：食事摂取量、塩分摂取量、水分摂取量、排便状況、排尿状況、目覚めの状況、睡眠の状況など	
	患者に説明する内容		
	使用した資料（複数可）		
解析を通して感じた事			

症例解析報告発表会 — 質疑応答の記録 —	報告日：令和 年 月 日（ ） 報告時間： 分 参加した症例解析メンバー： 人
--------------------------	---

【総括】 指導薬剤師または処方医からのコメント	指導薬剤師	印
----------------------------	-------	---

症例解析報告書（実習生用）

症例No.				作成時間	5時間
採 択 理 由	この処方箋には検査値も付属されており検査値が異常な値になっているものがあるため処方箋内容から今後どのような処方内容になっていくか気になったため。				
処方箋として記録から取りたい情報	場 面	処方箋	診療科		
	年 齢	70 歳	性	男性	
	処方内容	（一般名も併記すること） <ul style="list-style-type: none"> ◆ Rp1 ベザフィブラート徐放錠200mg 1回1錠（1日2錠）朝夕食後 28日分 ◆ Rp2 テプレノンカプセル50mg 1回1CP（1日3CP）毎食後 28日分 ◆ Rp3 ファモチジン口腔内崩壊錠10mg 1回1錠（1日2錠）朝夕食後 28日分 ◆ Rp4 イコサセント酸エチル粒状カプセル 600mg 1回1包（1日3包）28日分 ◆ Rp5 アムロジピン口腔内崩壊錠5mg 1回2錠（1日2錠）28日分 ◆ Rp6 トレーバ注フレックスタッチ 4キット 眼前 48単位 ◆ Rp7 ヒューマログ注ミリオベン 2キット 朝8単位 昼5単位 タ8単位 ◆ Rp8 マイクロファイブラス 31G 5mm（14本）8袋 			
	併用薬 ・ 薬歴 ・ 検査値 ・ 持参薬	薬歴 以前にアマリール錠やベイスン錠が処方されていたことから2型糖尿病持定できる。 また前々回処方ではトレーバ注フレックスタッチ 46単位処方 前回処方では46 47 48単位処方となっている。 検査値 TG 967mg/dl HDL 23mg/dl LDL 76mg/dl eGFR 37.6(ml/min/1.73m ²) GLU141mg/dl Hba1c8.5%			
解 析 内 容	予測される疾患名	脂質異常症 胃潰瘍（胃炎） 高血圧 2型糖尿病			
	添付文書との相違 疑義照会の必要性	添付文書との相違： 無 疑義照会の必要性： 無			
	薬剤管理指導を行うにあたり、薬剤師として意識をしておくこと	例：作用機序、用法用量、投与日数、投与間隔、検査値、副作用など必要な項目について記載 イコサセント酸エチルにより出血傾向があるため内出血を確認。Hba1cが高くインスリンの注射器の使用方法が間違っているかもしれない。もう一度使用方法を確認するべきだ。それでも正常値に近づいていかなければ単位数の増加も考えなければならぬ。 TG もかなり正常値から離れており、毎日飲んでいるかを確認しなければならない。また毎回 TG 値に差があるためどのような食生活を送っているか確認すべきである。 よくならない場合は腎機能も悪いのでスタチン系の使用も厳しくニコチン酸誘導体の使用も厳しいためエゼチミブ錠などの併用薬も考えないといけない、またノルメチアに変更も視野に入れるべきだ さらにこのままでは動脈硬化による心疾患、脳梗塞などに十分の注意が必要である。 また糖尿病による3大合併症（腎症 神経障害 網膜症）も頭こいれておかなければならぬ。			
	今回の処方内容から必要とされる患者への聞き取りと観察項目（項目だけを記載）	例：食事摂取量、塩分摂取量、水分摂取量、排便状況、排尿状況、目覚めの状況、睡眠の状況など <ul style="list-style-type: none"> ・ 低血糖症状（異常な空腹感 冷や汗 手の震え 気持ち悪さ）の確認 ・ 強い筋肉痛 筋力低下 赤色尿 出血 黄疸はないか ・ 排便状況の確認 食事状況の確認 ・ アムロジピンによる熱感 動悸 頭重感 下肢のむくみの状態 ・ 注射器の使い方や使用部位の確認 糖尿病三大疾患である神経障害の可能性があるためしびれや違和感があるか確認する。 糖尿病性網膜症の症状（歪んで見える、一部が欠けて見える、目がかすむ）などはないか			
患者に説明する内容	・ トレーバ注フレックスタッチは眼前48単位 ・ ヒューマログ注ミリオベンは食前（朝8 昼5 夜8 単位）毎回別の場所に注射。 ・ アムロジピンによる熱感 動悸 頭重感 下肢のむくみの状態は副作用であることを確認しひどすぎる場合は医師に相談 ・ 経口薬はすべて食後投与 ・ 低血糖症状発生時の対処法を伝える。 ・ 強い筋肉痛 筋力低下 赤色尿が発生した場合は服薬を中止し主治医に相談すること 糖尿病の合併症に網膜症があるため眼科受診を進める。 神経障害の影響により手のしびれ、違和感が出る可能性がある。				
使用した資料	治療薬マニュアル 治療薬ハンドブック				
解析を通して感じた事	検査値を見ることで処方箋だけでは見えなかった薬の動きが分かった。				

異常のある検査値

検査項目	2021 01/20	2021 03/16	2021 05/12	2021 07/07	2021 08/04	2021 09/27	基準値
TG	560	1300	938	1519	940	940	50~149 mg/dl
HDL	25	21	23	21	22	23	40~70 mg/dl
LDL	113	51	70	58	70	76	70~139 mg/dl
eGFR	40.8	40.1	39.4	37.1	36.5	37.6	60(ml/min/ 1.73m ²)以上
GLU	108	132	103	153	124	141	66~110mg/dl
Hba1c	8.5	8.8	8.2	7.9	7.9	8.5	4.6~6.2%